

松戸市公共交通不便地域の選定及び 不便地域解消に向けたモデル地区の選定について

目 標

**「子どもから高齢者まで、
どこで暮らしていても、移動が便利な街」**

平成28年5月26日(木)
松戸市 街づくり部 交通政策課

～ 目 次 ～

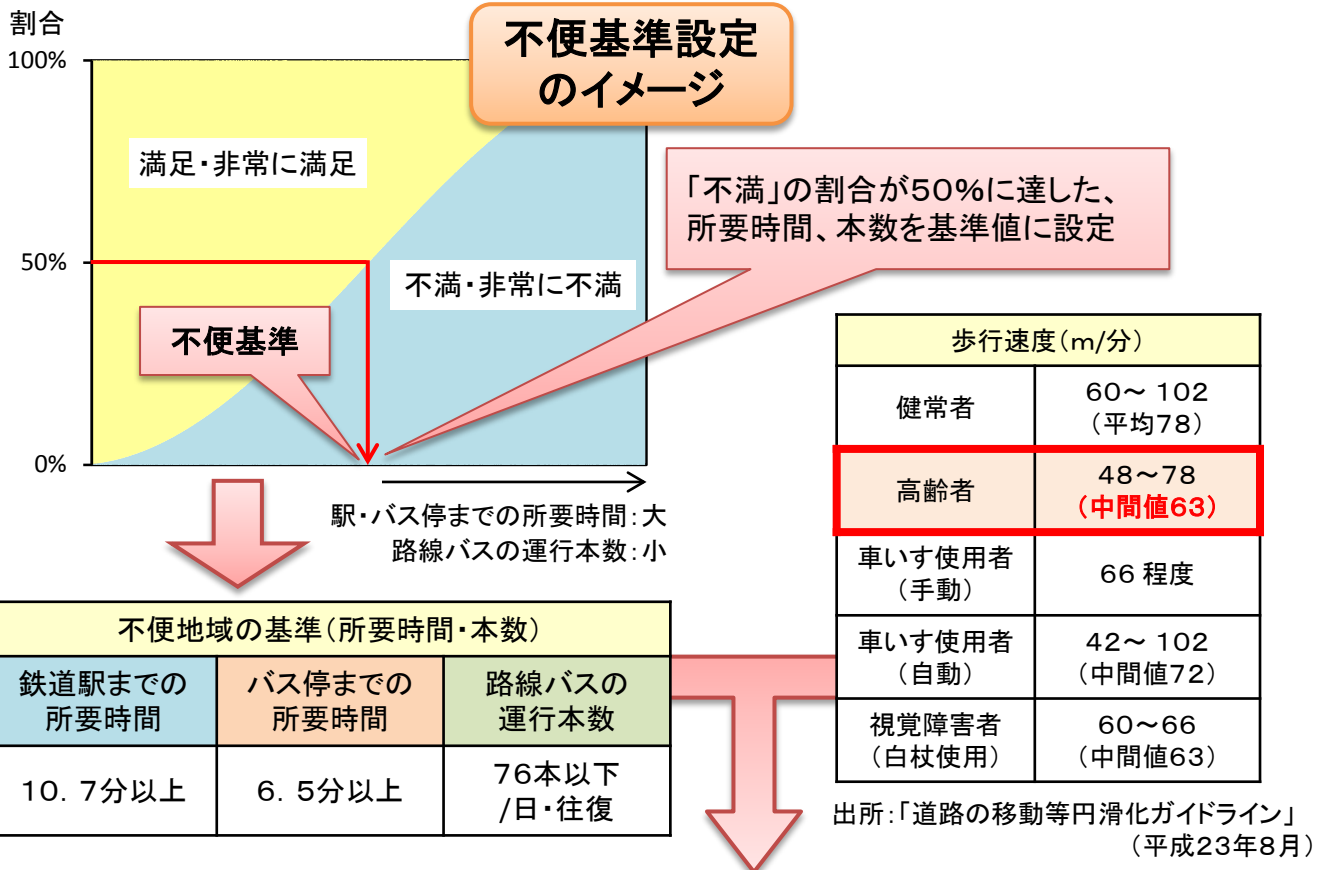
1. 松戸市公共交通不便地域の選定について	
公共交通不便地域の選定手順	1
公共交通不便地域	2
(参考1)松戸市の人口分布	3
(参考2)松戸市の老年人口分布	4
(参考3)高齢者の関心と移動パターン	5
(参考4)松戸市の地形と不便地域	6
2. モデル地域の選定について	
公共交通不便地域の概要	7
(参考5)松戸市の都市計画道路と不便地域	8

■ 市民アンケート調査の実施(平成27年度)

- 市民の生活行動の実態や公共交通に対する意識・ニーズを把握・分析
- 住民基本台帳から約7,000人を無作為に抽出(回答数3,116人)

■ アンケート結果から不便基準を設定

- 「**最寄り駅・バス停までの所要時間**」、「**路線バスの運行本数**」及びそれぞれに対する「**満足度**」を考慮

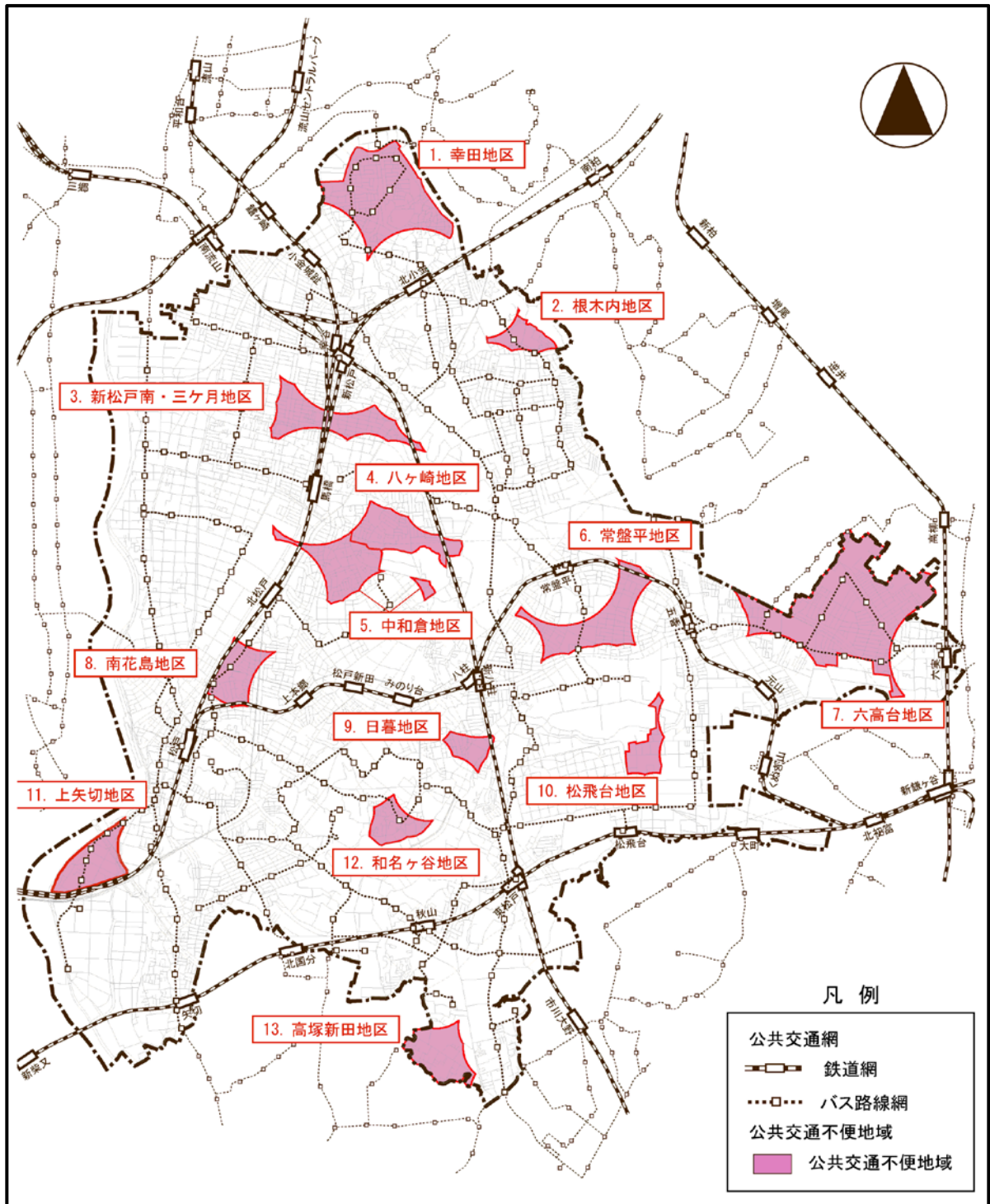


不便地域の基準(距離・本数)		
鉄道駅までの距離	バス停までの距離	路線バスの運行本数
670 m 以上	410 m 以上	76本以下/日・往復

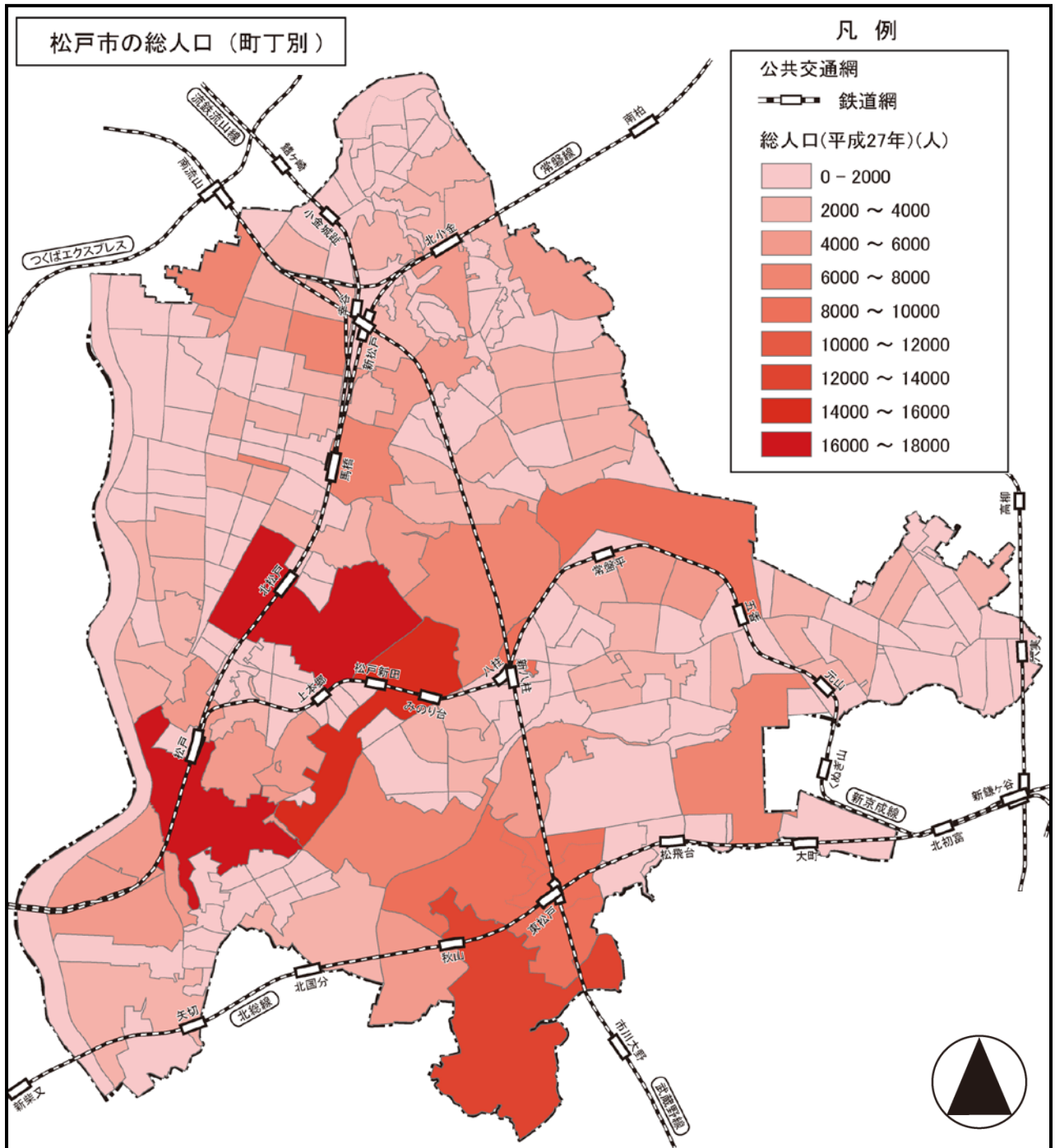
移動制約等も考慮(丘陵地等の高低差、大規模施設の立地、河川や線路等)

公共交通不便地域

- 市民アンケートの分析から、公共交通不便地域を**13地区**抽出
- 今後、**公共交通の有無**や**人口分布**、**高齢者のニーズ**等を加味し、不便地域解消に向けた**モデル地区**として、**1～2地区選定**



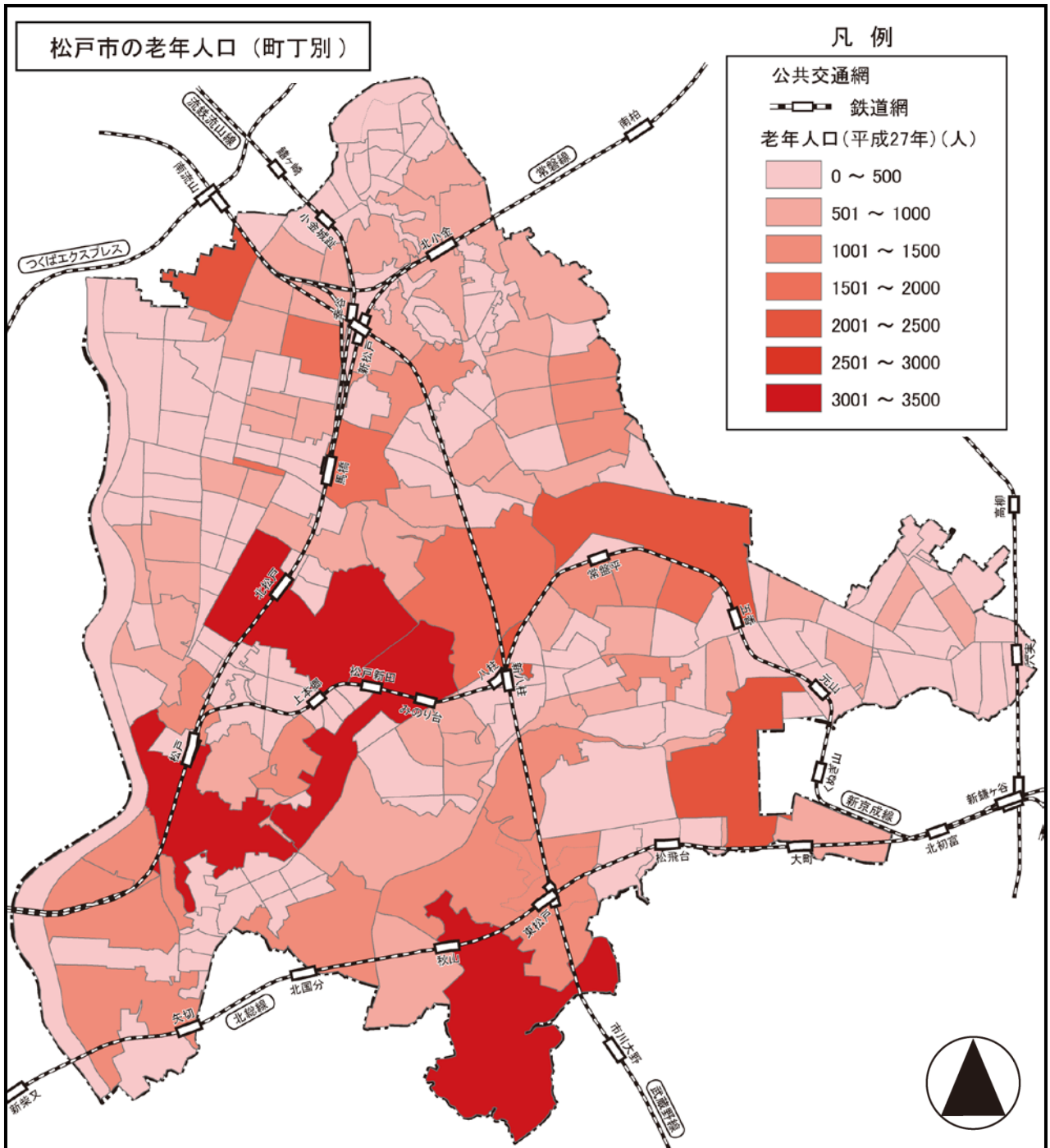
(参考1)松戸市の人口分布



出典：「国土数値情報(将来人口統計メッシュ)」(国土地理院)

(参考2) 松戸市の老年人口分布

(注) 老年人口=65歳以上人口



出典:「国土数値情報(将来人口統計メッシュ)」(国土地理院)

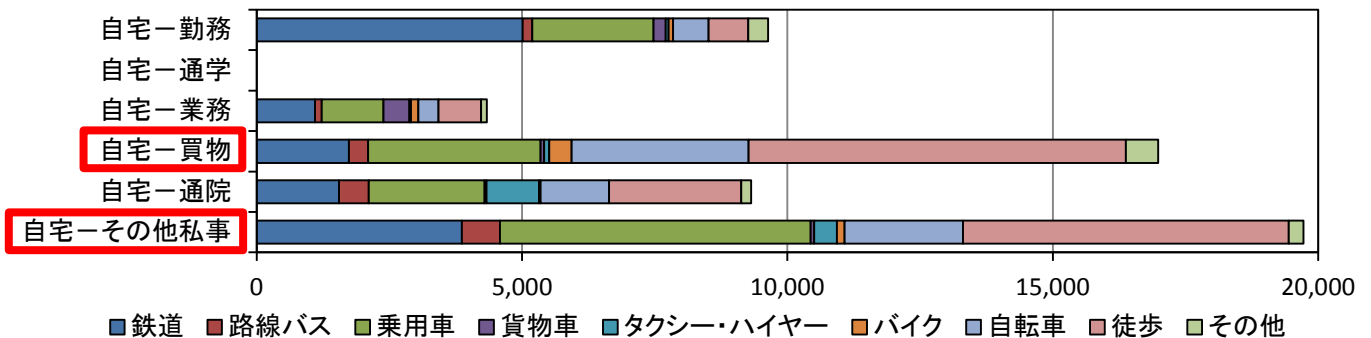
- 27年度のアンケート調査の回答率を年齢別で見ると、**高齢者の公共交通に対する関心の高さ**がわかる。

年齢	配布数	回答数	回答率
10代	471	130	27.6%
20代	840	238	28.3%
30代	995	399	40.1%
40代	1269	529	41.7%
50代	916	442	48.3%
60代	1095	625	57.1%
70代	941	564	59.9%
80歳以上	411	179	43.6%
不明	-	10	-
合計	6938	3116	44.9%

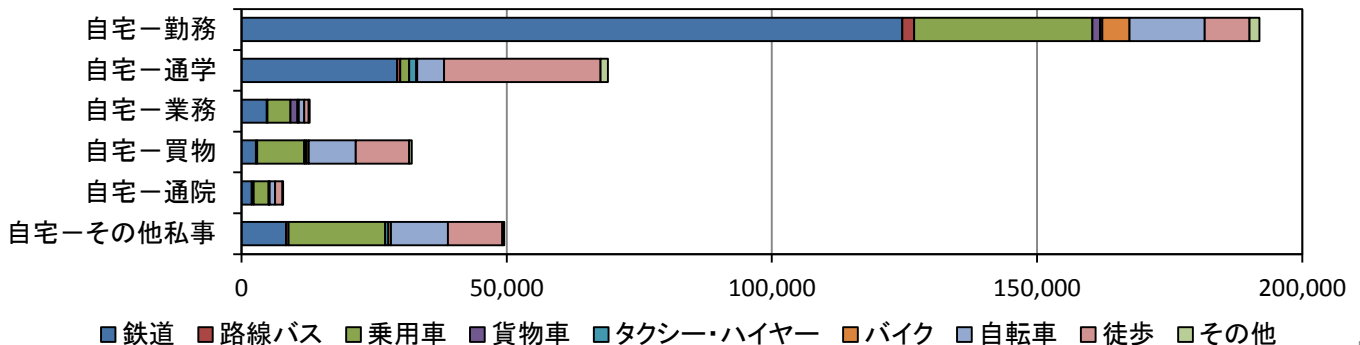
- 高齢者の移動目的は、**買物・私事が多い**ことから、移動は**比較的短距離**であると想定される。

- 比較的短距離の区間を運行する**コミュニティバス等**への需要は大きいと考えられる。

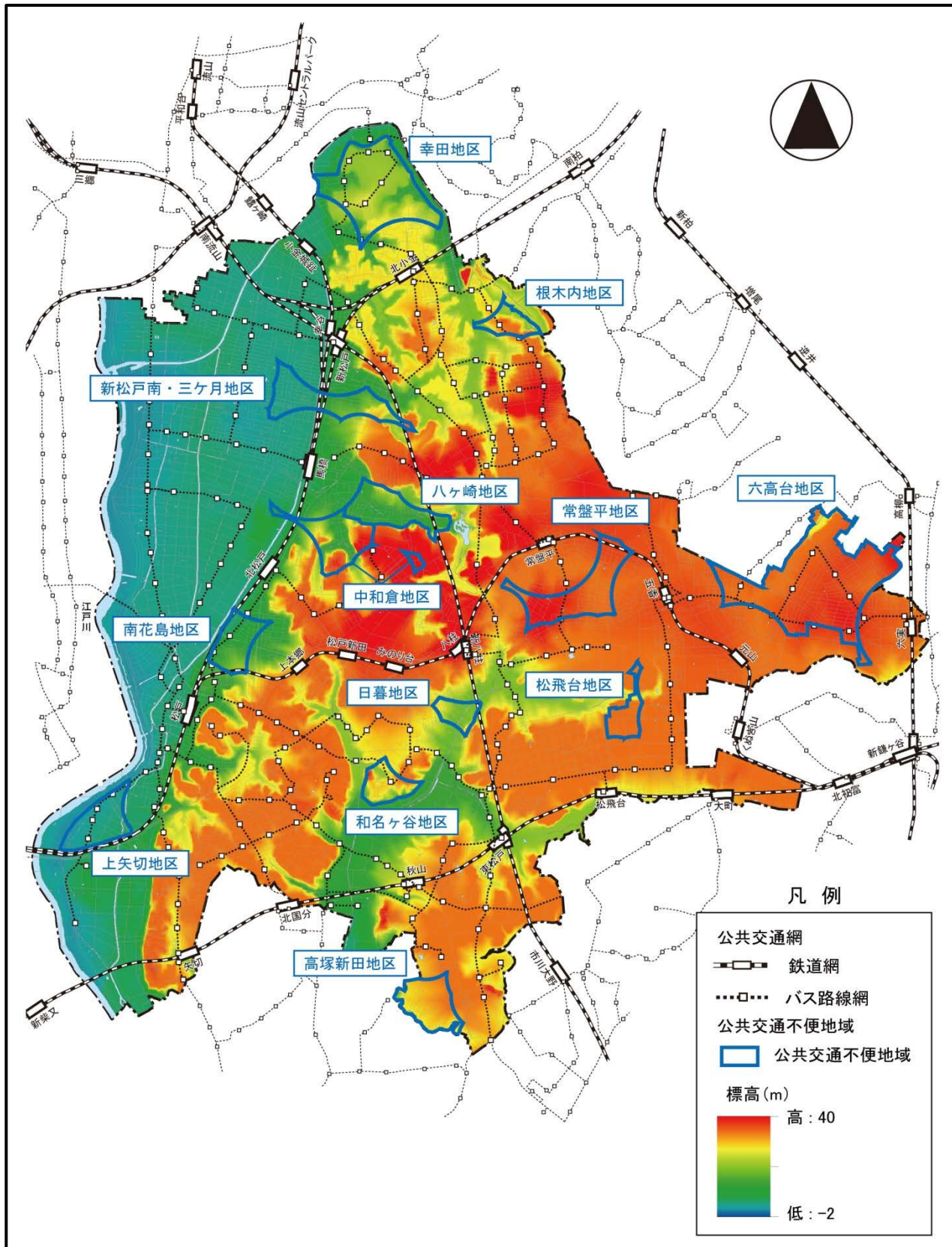
松戸市内の高齢者の発生集中量(トリップ/日)と代表交通手段(注)高齢者=65歳以上



松戸市内の非高齢者の発生集中量(トリップ/日)と代表交通手段



(参考4) 松戸市の地形と不便地域



公共交通不便地域の概要

地区名	人口 (人) ※1	高齢者数 (人) ※2	面積 (ha) ※3	人口密度 (人/ha) ※3	高齢化率 ※3	路線バス の有無	地形の 起伏 ※4	現状比較 ※5	
中和倉地区	6,600	1,330	46	143.5	20.2%	無	大	5	A
八ヶ崎地区 ※※	4,600	980	42	109.5	21.3%	無	大	4	
日暮地区	2,900	630	15	193.3	21.7%	無	大	4	
幸田地区	10,200	2,190	103	99.0	21.5%	有	大	3	
新松戸南・ 三ヶ月地区	11,400	1,930	50	228.0	16.9%	無	中	3	
常盤平地区	12,100	2,980	59	205.1	24.6%	有	小	3	
根木内地区	2,600	520	18	144.4	20.0%	有	大	2	B
六高台地区	24,500	3,700	173	141.6	15.1%	有	小	1	
南花島地区	6,000	1,010	31	193.5	16.8%	有	小	1	
松飛台地区	1,100	210	19	57.9	19.1%	無	小	1	
上矢切地区	4,100	870	37	110.8	21.2%	有	小	1	
和名ヶ谷地区 ※※	2,500	350	23	108.7	14.0%	有	大	1	
高塚新田地区	4,200	640	37	113.5	15.2%	無	小	1	

(※1) 公共交通不便地域に含まれる100mメッシュ人口を合計したもの。100mメッシュ人口は、平成22年国勢調査における500mメッシュ人口を、国土数値情報の都市地域土地利用細分メッシュ(100mメッシュ)において人が居住していると思われる土地利用区分に均等に配分したもの。

(※2) 公共交通不便地域に含まれる100mメッシュの高齢者数を各地区で合計したもの。100mメッシュの高齢者数は、100mメッシュが属する町丁の高齢化率を各メッシュに割り当て算出。

(※3) 網掛けは、13地区の中央値(面積:37ha, 人口密度:141.6人/ha, 高齢化率:20.0%)超の値

(※4) 地形の起伏については、当該地区内だけでなく、最寄り駅・バス停までの移動も加味している。

(※5) 数値は網掛けのセル数

(※※) **八ヶ崎地区及び和名ヶ谷地区周辺では、平成29年4月に都市計画道路が開通する予定で、今後、当該地区周辺の交通体系が変化する可能性もあるので、モデル地区としての選定は控えることにする。**

(参考5) 松戸市の都市計画道路と不便地域

